



2019年 田沼意次侯
生誕300年

相良藩主 田沼主殿頭意次 画像

「田沼意次侯生誕300年を 記念して」

田沼意次侯は、享保4年（1719）、8代將軍徳川吉宗の側近・田沼意行の長男に生まれました。秀才の評判高く、16歳の時、徳川家重の小姓に登用、宝暦8年（1758）には、美濃郡上一揆を解決に導いたことで、遠州相良藩1万石の大名に取り立てられました。

10代將軍家治の代になると、側用人・老中を歴任し、商業資本を積極的に利用する大胆な政策を実施し、幕府財政を好転させました。その中で、相良藩主としても、港や街道などのインフラ整備、製塩や養蚕などの殖産興業が行われました。この結果、領内の産業や流通が活性化し、人口も増加しました。

地元では、牧之原市の礎を築いた名君と高く評価されています。

第三十九回定時総会

全議案は
承認されました。



六月一六日牧之原市史料館を会場に第三十九回定時総会が開催されました。

当日の正会員数は五三四名の内、出席した会員数は一七六名、書面表決二八四名でした。

本杉理事長の挨拶の後、御来賓の皆様方より激励を込めた御祝辞をいただきました。永年就業会員の表彰が行われ、議事に移り、提出された議案はいずれも承認されました。

理事長あいさつ



理事長
本杉 佳弘

会員の皆様方には、ますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

令和元年、第三十九回定時総会にあたりご挨拶申し上げます。

さて、平成三十年度は第三次五カ年計画の四年目でした。

事業実績は過去、最高を三期続けて更新し三億五三三八万円となり、前年度を六六五万円上回りました。これは会員の皆様方や役員が一丸となって取り組んだ結果でありお礼申し上げます。

会員数は五八三人と前年度に比べ減少致しました。

昨年十月に、事務所がカタシヨウワンラボ

(旧片浜小学校)に移転し、皆様方と関係各位のご協力をいただき、事業運営が順調に進んでおります。

令和元年(三十一年)事業につきましては、基本方針により事業運営を積極的に展開してまいります。

一、会員数及び就業機会の拡大、全会員あがりの「ひとり一会員紹介運動、広報活動勧誘活動、退会会員の抑制等」の実施

二、安全適正就業及び健康管理の推進
会員自らが身体機能を把握、確認し健康診断を積極受診推奨、自己管理をし、安全委員を中心に就業パトロール、安全十カ条を守り「事故ゼロ」を目指す。

三、組織体制の基盤強化及び第四次五カ年計画の策定
事務局組織の充実強化。
第四次五カ年計画策定委員会を設置し、次期計画の策定を行います。

四、育成事業講習会及び研修の開催等
五、空き家空地管理事業「地域就業機会創出・拡大事業」の推進

六、植木等のチップリサイクル事業
七、調査研究事業
八、地域社会奉仕活動
海岸清掃・牧之原市イベントへの協力・門松寄贈・官公署への奉仕活動：等

九、牧之原市介護予防・日常生活支援事業等の推進

皆様方のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

静岡県議会議員あいさつ



静岡県議会議員
大石 健司

牧之原市シルバー人材センター会員のみなさまにおかれましては、記念すべき令和元年の盛夏の候、ますますご健勝、ご活躍のこととお慶び申し上げます。そして、みなさまが幅広い知識と豊かな経験に裏打ちされた正に「いぶし銀」とも呼べるお仕事ぶりによって、人口減少の進む地域社会にとって今や欠かすことのできない重要な役割を担われていることに改めて深く感謝申し上げます。

シルバー人材センターは「自主・自立、共働・共助」の理念に基づき、高齢者が働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献する組織として、日本全国に組織されていますが、ことに牧之原市シルバー人材センターは、約600人の会員のみなさまの並々な熱意と勤労意欲によって、事業実績も県内有数となり、多くの依頼者の方々からも高い評価と深い感謝を贈られているとお聞きしております。

少子高齢化時代の進行に伴い、地域や家庭における深刻な課題が次々に表面化する厳しい時代が、いよいよ到来しようとしています。

先のない現代社会ですが、年金受給年代を迎えても、ずっと変わらず元気に健康で働き、ご活躍されている牧之原市シルバー人材センターの会員のみなさまのお姿は、間違いなく子や孫の世代の市民の夢と希望につながっていくことと確信しています。

私も微力ではございますが、この地域の発展と将来に責任を担う地方政治家、県議会議員の一人として、みなさま方がいつまでもいきいきと働くことのできる環境づくりと、愛する故郷・牧之原市の発展のために全力を尽くすことをお誓いいたします。

旧相良・榛原両町の人材センターの歴史と実績を引き継いだ牧之原市シルバー人材センターが、旧片浜小学校の校舎の一角の素晴らしい事務所に移転して2年目を迎えました。昭和、平成の激動の時代を力強く生き抜いた会員のみなさまが、これからもますます一致団結され、令和の時代にもさらなる前進を続けられますよう、心からご祈念いたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

役員表彰

センター役員を三期以上在任し、かつ事業の発展に寄与した方々です。

- | |
|------------------|
| 本杉 佳弘(大江) 理事長 四期 |
| 後藤 千秋(女神) 理事 三期 |
| 原口 勝次(新庄) 理事 三期 |

会員表彰

会員になって五年、年齢が七十歳に到達し、前年度就業日数が六十日超えた方々です。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--------------------|---------------------|---------------------|--------------------|---------------------|-----------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|--------------------|----------------------|-------------------|----------------------|--------------------|---------------------|---------------------|--------------------|--------------------|----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|-----------|
| 青嶋 恵子(西萩間) 田代 春雄(大寄) | 池野 良雄(道場) 田中 勲(静波) | 石黒 保子(相良) 田中 政平(勝俣) | 今村とし子(大江) 辻村 ひさ(勝俣) | 枝村 勇(勝俣) 戸塚 照治(仁田) | 大石 和司(坂部) 永田 安彦(白井) | 大石 紀代子(細江) 名波二三子(須々木) | 大石 民子(静波) 新倉 安恵(大沢) | 大石 千代(細江) 西川 俊子(福岡) | 大久保秋男(菅ヶ谷) 西川 礼子(須々木) | 尾村 久男(細江) 濱崎 勇(静波) | 加納 悦子(布引原) 藤田 重雄(波津) | 川島 昇(大沢) 堀 喜一(相良) | 河村 壽浩(須々木) 前野 英信(松本) | 神田 孝(相良) 増田八重子(波津) | 木林 光雄(波津) 水野 晴子(落居) | 栗林 千代(勝俣) 村田 光子(細江) | 源間 秀夫(東萩間) 森 悟(細江) | 小林 学(静谷) 八木 秀岳(女神) | 櫻井 玉枝(地頭方) 矢部 勝美(大江) | 櫻井 正巳(大沢) 矢部 文俊(大江) | 佐々木森雄(波津) 山口 満雄(松本) | 佐藤 順子(黒子) 松下 将克(波津) | 澤入 賀之(地頭方) 横山 衛(静波) | 澤村 義克(静波) 森田 元久(福岡) | 柴田 道雄(男神) 飯塚 義男(静谷) | 鈴木 力雄(勝間) |
|----------------------|--------------------|---------------------|---------------------|--------------------|---------------------|-----------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|--------------------|----------------------|-------------------|----------------------|--------------------|---------------------|---------------------|--------------------|--------------------|----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|-----------|

ミニ展示会

会場には会員のミニ展示会のコーナーが設置され絵画、盆栽、手芸、工作等の力作が参加者の目を楽しませてくれました。



総会展示会

イベント展示

今年の4月14日(日)相良港内で開催した、田沼湊まつりに当シルバーも会場の一角に展示ブースを設け会員募集や仕事の内容を多くの市民の皆さんに知っていただくため、活動をおこないました。



講習会の開催

今年の4月、樹木を伐採した際の再利用等の取り組みとして、新たに移動式チップパーを購入しました。
今回、会員により講習会を開催し多くの利用を図っていきたくと考えています。



会員募集中



- ◆ 市内在住の概ね60才以上の方で、健康で働く意欲のある方なら、どなたでも会員になれます。
 - ◆ センターの主旨を理解し、賛同してくださる方に入会していただきます。
 - ◆ 入会説明会を受け、入会申込みを提出してください。(いつでも入会できますが、事前にお電話してください)
 - ◆ 定められた会費を納入してください。
- ※入会金は、年会費…3,000円(うち互助会費1,000円)

互助会よりお知らせ

☆新年会のお知らせ

飲んで・食べて・歌って・踊って皆さんと一緒に楽しく過ごしましょう。

1. 日時

令和2年2月2日(日)

2. 会費

4,000円(総会時の割引券を使えます)

3. 会場

うおとも(5210500)

4. 申込み

12月頃予定(詳しくは事務局へお問合せください)



☆親睦旅行(1泊2日)のお知らせ

行き先は、長野方面に決定しました! みなさんお誘いのうえご参加下さい。

1. 日時

令和2年3月15日(日)・16日(月)

2. 行き先

真田氏ゆかりの上田城・長野善光寺ほか

3. 宿泊先

上山田温泉(源泉かけ流しの名湯)

4. 会費

激安価格(総会時の割引券を使えます)





安全委員会より

就業中の事故発生状況

平成30年12月～平成31年3月末までに、下表のような就業中の事故が発生しています。仕事をする前に体調管理、仕事中は周囲の確認等を行い安全就業に努めましょう。

就業中の事故発生状況調査（平成30年度） H30.12.18～H31.3.5

発生日	性別	仕事内容	事故の発生状況
12月18日	女	工場内清掃	箱のふちに足を引っ掛け転倒し骨折
2月25日	女	公民館管理	片付け中、倒れた机で右足の指を骨折
3月5日	男	草刈り	草刈り中、跳ねた石で車のガラスを破損

安全標語の表彰

■最優秀賞

侮るな 慣れた作業と 仕舞い頃 (赤堀敏宏)

■優秀賞

一人ひとり 声かけ注意し合い 事故防止 (本杉佳弘)

■優秀賞

まず確認！ 心のベルトと ヘルメット (田久 明)

■優秀賞

見える危険！ 見えない危険は なお危険 (西原 茂)

■入 選

内藤 鈞・榛葉 等・横山正恒・木林房子・永井 晃・川島 昇

※出点数は27点でした。ご協力ありがとうございました。

牧之原市シルバー人材センター 安全十カ条

- 1 心身の調子を一定に保とう。
- 2 服装は動きやすく明るい色を着用する。
- 3 作業道具はよく点検する。
- 4 作業前特に寒い季節は体をほぐす体操をする。
- 5 時間にゆとりを持って行動する。
- 6 作業場所は常に整理整頓しておく。
- 7 共働、共助で仲良く作業する。
- 8 帰宅途中も気を抜くな。
- 9 無理するな！今の体は中古品。
- 10 作業当日は不安や悩みを持たないようにする。



手芸クラブのご案内

河村美智子（大江）

手芸クラブは会員十二名、第一水曜日午後一時三十分から午後三時三十分まで、いきがいデイあしたか（いきいきセンター）で行っています。

クラフトテープ、或いは古布等を使って小物づくりを楽しんでいます。指先を動かしながら頭もちよつと使う：そしておしゃべりもして情報交換等、日々の慌ただしさを忘れて楽しいひと時を過ごしています。時にはお食事会、今年はお勉強会もかねて手芸の作品等視察に行けたら良いなと思っています。



互助会親睦一泊旅行に参加して

益富 数義（静波）

今から、およそ400年前に川越の藩主・酒井忠勝が、城下に時を告げる為に「時の鐘」を建てたと伝えられています。度々火災等で建て替えられたとのことですが、現在も日に4回（6時、12時、15時、18時）にその豊かな音色を響かせ「川越のシンボル」となっているそうです。

また蔵づくりの町並み、大正ロマンの洋風建築、昭和初期の風情から現在の店舗：と街全体にさまざまな「時」が流れている、そんな情緒に溢れ小江戸と呼ばれている川越や世界遺産「富岡製紙工場」などを訪ねるシルバー人材センター互助会親睦一泊旅行に参加しました。

平成31年3月14日(木)～15日(金)

総勢32名

その日の宿は伝説「舌きり雀」

の雀が住んでいたとされるホテル磯部ガーデンという所でした。一風呂浴びてから宴会です。食べきれない程のご馳走、飲めや歌への大騒ぎ。そして、帰る時「お土産にどちらでもお好きな方をお持ちください」とのこと、もちろん自分は大きな方を選びましたが帰って開けてみたら宝物がいっぱい詰まっていました。また機会があれば泊まりたいと思っています。

次の日は世界遺産「富岡製紙工場」を見学しました。明治維新の数年後に建設され、百数十年経った今でも圧倒的な存在感を示していました。

昔、糸取工女だったという今年92歳になる義母の話の思い出し、





並べられたたくさんさんの機械と奮闘している姿を想像したものです。雪を頂いた浅間山、恐竜の背にも似た妙義山等を車窓より眺め、車内ではビンゴゲームに一喜一憂し、平日にもかかわららず大勢の老若男女で賑わう川越の町、泊まったホテルのおもてなし、コンニャクパークで食べたコンニャクの味など思い出しながら、開通したての中部横断自動車道を快適に走るバスに揺られて帰って来ました。最後に今回の旅行を企画していただいた互助会役員の皆さま、またお世話になった事務局の皆さまに感謝しお礼申し上げます。

会員の広場

草刈班 「運命共同体」

河村 壽浩 (須々木)

私たち草刈り班「運命共同体」は、共働共助をテーマとして日々老体鞭打って働いています。七人の仲間がお互いに笑顔と会話が弾む楽しさこそがシルバー草刈り班としての役割であり、命の根源と考え、一丸となって働いています。

私たちは、一週間に4日間の作業で無理なくお互いの個性を尊重し、健康第一を柱としています。個人の自由を尊重しながら共働し、施主の要望に十分対応して草刈りや剪定を行っています。

次に心掛けていることは、作業の共助です。七人の仲間はそれぞれ過去に専門的知識と技術を身につけています。その特技を生かして、助け合い、工夫し合って作業しています。お互いの心が一体化して作業が進むのです。その共助こそが私たちの班の生命線です。仕事は綺麗に行われ、仕事への情熱が生きているのです。

施主から喜ばれてこそシルバーの仕事です。

私たち、草刈り班は心ひとつです。一人一人の役割が生きる働き、喜びです。この仲間たちから、新しい知識と知恵を共有できることが誇りです。そして一日の労働に感謝し、日々の健康を確かめ合うことを幸せと感じています。

今後も、七人の仲間を大切に、お互いの個性を尊重して、常に笑顔の絶えない仕事をし、シルバー人材としての自覚を失うことなく頑張っていきます。

シルバーに入会して

大窪 となみ (地頭方)

勤めていた会社を定年退職して、しばらくゆつくりしていましたが、広報で牧之原市シルバー人材センターのことを知り、不安もありましたが経験のない仕事をやってみるのもおもしろそうだなと思い昨年入会しました。

今年一月には職場の先輩に誘っていただき新年会にも参加し、思った以上に大勢の組織でびっくりしました。みなさん生き生きと見られて良かったし、私のまわりの先輩のみなさんも良い人達ばかりで、とても楽しかったので入会して、本当に良かったなと

思いました。

紹介していただいた仕事は寮の管理人さんの代行です。勤務は一人体制ですが、引継事項の確認などチームワークが必要な職場です。良い仲間恵まれてチームワーク良く、気持ちよく働けてありがたいです。毎月の給料はもちろん喜びですが、シルバーに入会したおかげで、新しく知り会えた方たちとの交流もあり、とてもうれしく思います。

これからも健康に気をつけて楽しくがんばっていききたいと思えます。

第二の人生

池野 良雄 (道場)

牧之原市に移住し、人生第二のスタートと思しシルバー会員に登録させて頂き、はや五年が過ぎ元気に頑張っています。

退職前50歳代に怪我、大病と病院暮らしが多かった日々。生活環境の変化を求め、美しい浜辺でサーフィンを楽しむ若者たち。前方には伊豆半島、世界遺産に登録された富士山、牧之原台地に上がれば緑豊かな山々、延々と続く大茶園、四季と共に変化する景色は何とも言えません。

そんな環境の中、最近テレビや新聞で毎

日のように高齢者問題が報道されていますが、私もその一人であり、他人事ではありません。

定年後、軽い運動が必要と思ひ、若い時からスポーツ競技が好きだった事もあり、ゴルフに興味を持ち、暇な時には練習に励み、ラウンドもしていました。年齢と共に飛距離・スコアも落ち、最近では月二回ほどストレス解消するためだけに、ゴルフ場に通っています。

最近、指先と脳の体操に効果があるのではないかと、考えた時、思いついたのがナンプレで、脳からの指令を受け数字を書き込む事で、指の運動機能を低下しないよう飽きずに行っておりです。

また、日常生活も何不自由なく生活できるのも、年四回ほど通院検査を受け、医学上の悩み事を先生(医者)と相談しながら、これからも元気に仕事や生活できることを祈る次第です。

近頃、時折り想う事

鈴木 倫之 (波津)

七十歳を過ぎた頃から、不規則に気まぐれ日記のようなものを書き留めてきた。

近頃は、極力短い言葉で、想うところを画

く様になった。

恥ずかしながら、その中の何句かを羅列してみます。

「願、延命治療 お断わり 自然死希望!!」

「無縁も縁、大して面白くもない世界に分かれて、無限の時空に還りたい。」

「無為、自然 全在、全無。」

「心観」

「不可思議は、不思議の儘に思議するべからず。」

「独愉心」

「自然和愉」

「時代の違いは、国境や民族の違いにより大きい。処は越えても、時は越えられず。」

「一人飯、美味し!」

「?の逆」(ハテナの逆:解った!)

「夢玄」

「愉心」

「夢幻界」

「我捨て歩けば残道は幸!」

「我がものなどは、この世には、なにひとつも無い。」

筆名 蝸庵 普覚



新会員の紹介

どうぞよろしく

平成30年12月10日～令和元年5月31日まで

田形 秋男(菅ヶ谷)	杉山 芳可(大江)
清水 晃(静波)	鈴木 敏雄(静波)
前田 道恵(静波)	飯塚富士子(静波)
増田あき子(須々木)	伊村 修一(波津)
増田 純子(笠名)	宇都宮光子(大沢)
大石 憲三(静谷)	鈴木ヤス子(勝俣)
木村 明(細江)	櫻井 和子(静波)
大鐘 君代(坂部)	笠原 定子(静波)
八木まさえ(波津)	川村 廣子(道場)
大塚 幸子(波津)	高橋 勝也(細江)
村松智恵子(須々木)	中嶋 和夫(中西)
長野かづ子(新庄)	畑 弘子(道場)
野ヶ本すみゑ(女神)	戸塚誠一郎(白井)
矢野 雄一(地頭方)	辻 みち子(静波)
永井 義郎(新庄)	鈴木 禮子(静谷)
酒井満智子(須々木)	紅林 勲(静波)

計32名の方々です。

臨時職員の紹介

今年の4月より、お世話になっている榎野浩子と申します。

まだ、分からない事ばかりで迷惑をお掛けしてはいますが、頑張りますのでこれからもよろしくお願いいたします。



こひろのまき
榎野 浩子
(坂部)

新しい編集委員

この度、平成31年4月より中西雷太郎氏から会報の編集委員を引き継ぐこととなりました。微力ではありますが、皆様のご指導等仰ぎながら務めたく思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



かづよし ますとみ
益富 数義
(静波)

編集後記

会員の皆様、残暑お見舞い申し上げます。

今年の夏も猛烈な暑さが続き、お仕事も大変だと思えますが、もうすぐ心地良い、秋が来ますので、もうひとつふん張り頑張ってください。

また、今回原稿依頼をお願いした会員の皆様には心より感謝します。

編集委員の交代のお知らせ

太田勝夫(細江)、中西雷太郎(静波)さんが、今年の3月で任期満了となり、新たに益富数義(静波)さんが加わりましたので宜しくお願いします。

なお、お二人には、長い間編集に関わって頂き有難うございました。

編集委員

委員長	鈴木 干城 (大寄)
	横山 眞一 (細江)
	今村とし子 (大江)
	益富 数義 (静波)